

令和5年3月14日

## 原子力機構予算(令和5年度予算、令和4年度補正予算)について

原子力機構の新中長期計画に掲げる7項目を柱として、令和5年度の概算要求に対応してきた。

- 安全性向上等の革新的技術開発によるカーボンニュートラルへの貢献
- 原子力科学技術に係る多様な研究開発推進によるイノベーションの創出
- 我が国全体の研究開発や人材育成に貢献するプラットフォーム機能の充実
- 東京電力福島第一原子力発電所事故の対処に係る研究開発の推進
- 高レベル放射性廃棄物の処理処分に関する技術開発の着実な実施
- 安全を最優先とした持続的なバックエンド対策の着実な推進
- 原子力安全規制及び原子力防災に対する支援とそのため安全研究の推進

このように、概算要求にあたっては、安全性向上に向けた貢献、バックエンド対策の着実な推進等を主要な柱に位置付けて対応した。

## 1. 令和4年度補正予算〔～令和4年11月〕

令和4年度補正予算については、防災・減災、国土強靱化を踏まえ、東海再処理施設の安全対策、人形峠の自然災害対策といった安全対策に措置頂いた。

また、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(令和3年6月)に基づき、高速実験炉「常陽」の運転再開に向けた準備及び試験研究炉 JRR-3 の安全・安定運転に必須な設備更新に向けた材料調達、研究活動の継続的な実施に資する補正予算を措置頂いた。

## 【一般会計】

- 人形峠安全対策 約4億円
- JRR-3の高度化 約2億円
- 研究活動等の継続に係る対応 約4億円

## 【エネルギー対策特別会計】

- 東海再処理施設の安全対策 約59億円
- 高速実験炉「常陽」の運転再開に向けた準備 約73億円
- 研究活動等の継続に係る対応 約16億円

## 2. 令和5年度予算案の閣議決定〔令和4年12月〕

令和5年度予算案における機構の運営費交付金及び施設整備費補助金については、令和4年12月、次のとおり、閣議決定された。

## 【一般会計】

約364億円(令和4年度予算:約364億円)

## 【エネルギー対策特別会計】

約937億円(令和4年度予算:約936億円)

## 【東日本大震災復興特別会計】

約20億円(令和4年度予算:約20億円)

そのうち主な廃止措置事業に関しては、次のとおり。

(1) 東海再処理施設

令和5年度予算案及び令和4年度補正予算 約167億円

(令和4年度予算及び令和3年度補正予算:約145億円)

(2) もんじゅ

令和5年度予算案 約179億円(令和4年度予算:約179億円)

(3) ふげん

令和5年度予算案 約96億円(令和4年度予算:約93億円)

以上